



平成 29 年 6 月 13 日
港湾局政策調整課

～国際コンテナ戦略港湾施策の一環として～
**横浜川崎国際港湾株式会社が
LNGバンカリング国際推進組織に加入しました**

横浜川崎国際港湾株式会社が、LNG（液化天然ガス）の船舶燃料化について多角的に取り組む国際組織である「SGMF」および「SEA-LNG」に加入しました。このことについて、本日別添資料により横浜川崎国際港湾株式会社が記者発表を行いましたので、情報提供させていただきます。

本市といたしましては、今後も国、横浜川崎国際港湾株式会社及び事業者の方々と連携し、横浜港をLNG供給拠点とすることで、主に北米基幹航路の寄港を促し、東アジアのハブポートとしての復権を目指します。

お問合せ先

港湾局政策調整課担当課長 林 総 Tel 045-671-2877

LNGバンカリング国際推進組織に加入しました

横浜川崎国際港湾株式会社 (YKIP) はこのたび、LNG の船舶燃料化について多角的に取り組む国際組織である「SGMF」および「SEA-LNG」に加入しました。

「SGMF」および「SEA-LNG」は、いずれもロンドンに拠点を置く、船舶燃料としての LNG 利用を推進している国際組織です。

「SGMF」は船会社や LNG 供給団体、港湾管理団体（ポートオーソリティ）など 110 以上の団体が加盟しており、船舶用燃料としての LNG の普及に関する産業・技術・環境規制・安全性など包括的に取り組んでいる組織です。また、「SEA-LNG」は、船会社や LNG 供給団体など約 20 団体が加盟し、海運業界での LNG 利用の促進やビジネスモデルの構築を目指しています。

当社では今後、当該組織を通じて国際的なネットワークを構築し、横浜港における LNG バンカリング拠点の形成を引き続き推進していきます。



【本拠地】 ロンドン

【加入団体】 約 110 団体

(船会社や LNG 供給団体、港湾管理団体)

【活動内容】 船舶燃料としての LNG の普及を目的に、産業・技術・環境規制・安全性等に取り組む

※SGMF は”The Society for Gas as a Marine Fuel”の略。



【本拠地】 ロンドン

【加入団体】 約 20 団体

(船会社や LNG 供給団体)

【活動内容】 海運業界における LNG 利用の促進やビジネスモデルの構築に取り組む

問合せ先

横浜川崎国際港湾(株)営業部長 熊 桜

Tel: 045-680-6583

FAX:045-680-6637